

「夜須高原オートムファミリーキャンプ」

～ 火のちからを生かし、木のこころを知る ～

1 趣 旨

秋の自然豊かな夜須高原で、主に子どもの遊びを中心とした、プログラムや自然散策・創作活動等様々な体験活動を通して、親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を深め、子供達の社会性を育む。

2 主 催

福岡県・佐賀県「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会

3 連携機関

なし

4 期 日

平成29年11月11日（土）～11月12日（日）〈1泊2日〉

5 会 場

国立夜須高原青少年自然の家

6 対 象

幼児・小学生とその家族・グループ 計112名

7 参加者

○参加人数：112名

・未就学児：15名、小学生：51名、中学生：2名、大人：44名

8 日 程

○11月11日（土）

（午後）開会式、樹木ビンゴ、すべラップづくり、小枝のボールペン、枝打ち・皮むき体験、夜須高原ファイヤークエスト

（夜） キャンプファイヤー、読み聞かせ、ナイトハイキング、ネイチャークラフト

○11月12日（日）

（午前）（木）植樹体験、木のクラフト上級編

（火）野外炊飯、焼杉コースター、焚火

（午後）開会式

9 活動の実際



【樹木ビンゴ】



【すべラップづくり】



【小枝のボールペン】



【夜須高原ファイヤークエスト】



【木の枝打ち・皮むき体験】



【ネイチャークラフト】



【キャンプファイヤー】



【ナイトハイキング】



【読み聞かせ】



【植樹体験】



【野外炊飯】



【焚火】

10 感想（アンケートより）

- 普段からよく見てるTVやゲームがなくても自然なもので物を作ったり、遊ぶことができると感じるようになってよかったです。
- 今回、小学3年生の娘にオノ（ナタ）と小刀を使わせたのですが、最初はこの子には無理だろうと思っていたのですが、させてみるとなんとか使って作品を作ることができました。良い経験ができました。ありがとうございました。
- プログラムがいままで体験したことがないような内容で子供たちにもよい体験となりました。火コースやナイトハイキングなど。スタッフの方々もあたたかくよい人ばかりでした。お世話になりました。また遊びに来たいと思います。
- 自然をたくさん感じられて子供たちにも貴重な体験となりました。ありがとうございました。

11 成果

「木」と「火」の二つのテーマとしたので、活動内容がぶれず、参加者にとってもわかりやすく、活動しやすいものとなった。特に「夜須高原ファイヤークエスト」→「野外炊飯」の流れには目を見張るものがあった。当初はマッチをすることすらしたことがなかった幼児や小学生が、「マッチをする」「マッチをすって新聞紙に火をつける」「細く割った薪に、新聞紙などを使って火をつける」「薪を割って燃えやすいものを準備する」「自然物を燃やす」「マッチと自然物を使って火をおこす」など、段階的に少しずつ体験を重ねることにより、次の日の「野外炊飯」では、火の指導なしで火おこしを行うことができたり、他の小学生に対し、「この葉っぱの方がよく燃えるよ」など、自分の体験に基づいたアドバイスを行えるようになった。段階的な体験活動の重要性・有用性を再認識した。

（課題）

今回は参加者の人数が比較的少なかったため、広報についての課題、および、参加者の人数が増えた場合の各コーナーの運営方法が課題である。